

応募用紙の作成要領（記載例）

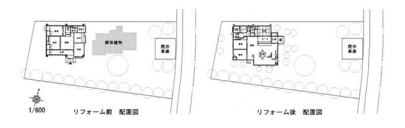
令和5年度 第33回「住まいのリフォームコンクール」		受付番号
記入日	令和5年 7月 1日	
応募者	会社名	〇〇建築設計室
	住所	鹿児島市〇〇〇〇〇〇番地
	氏名	〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)
設計者	会社名	〇〇建築設計室
	住所	鹿児島市〇〇〇〇〇〇番地
	氏名	〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)
施工者	会社名	株式会社 〇〇工務店
	住所	鹿児島市〇〇〇〇〇〇番地
	氏名	〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)
協力企業名(得意先等)		
個人情報の取扱いの同意欄		
応募住宅の所在地		
住宅所有者の年齢		
建築確認の要・不要		
融資制度利用有無		
リフォーム保証保険利用有無		
建方形式		
構造		

対象建築物	築年数	30年	構造(階)	在来木・RC造(平屋)	延べ床面積	152.05㎡
竣工	2020年1月	工事期間	210日間	工事部分の面積	152.05㎡	
工事費	2,100万円	リフォーム	全面リフォーム + 増築			

■設計施工のポイント(増築等の工夫)・アピールポイント

基本構想

- ・施工は子育てが終わった夫婦で、老後を緑豊かな空間で過ごしたいという希望であった。
- ・敷地は、植栽豊かで、施主は景観をとても大事にしており、間取りがなくなったため既存木造住宅を解体することで、庭を広くとり、またシンボルツリーをそのまま活かして、室内から緑が見えるよう計画し、コンパクトな住まいでありながらゆとりある暮らしを目指した。
- ・既存の住宅は壁が多く、部屋がそれぞれ孤立し、暗い印象だったため、LDKを中心に明るい空間構成を構築した。

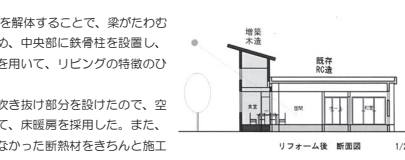


デザインの特徴

- ・シンボルツリー越しに見える、正面ファサードが重要だと考え、片流れ屋根の木調の外観を林の中の住宅をイメージした。
- ・内装は施主の要望で、木のぬくもりが感じられる、あたたかみのある空間を目指した。
- ・RC平屋建ての既存住宅を木造にて増築し、リビングを広く確保し、吹き抜け空間を作り、ハイサイドライトから入る光により、明るく開放的な空間になるよう計画した。
- ・通常、南側は大きな吹き出し窓を設置するが、本計画では外の景色を眺めることが重要だったため、護窓を用いて、窓枠に風景が切り取られることを意図した。

技術的工夫

- ・既存RC部分は壁を解体することで、梁がたわむ可能性があったため、中央部に鉄骨柱を設置し、アクセントカラーを用いて、リビングの特徴のひとつとした。
- ・空間が広くなり、吹き抜け部分設計のため、空調の効きを考慮して、床暖房を採用した。また、既存建物に入らなかった断熱材をきちんと施工し、開口部はすべてペアガラスとした。今回のリフォームで断熱性能は新築と同レベル上がった。



プランニングなど施主の要望に対する対応、設計施工のポイントや創意工夫した点、こだわった点など、自由に記入してください。

※上記の記載事項に間違いありません。 応募者署名 〇〇〇 〇〇〇

- ※ 応募者等欄の記入要領
- (1) [応募者]欄には、施工者又は設計者のいずれかを記入してください。
 - (2) 住宅センターからの連絡窓口として、[代表者]欄に〇印をつけてください。
 - (3) 協力企業欄はこのリフォーム工事を実施するうえで協力を受けた専門業者等がある場合のみ記入してください。
 - (4) [住宅の概要]欄は該当するところに〇印をつけてください。

タイトル 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

リフォーム前



①南東側の和室 ②南側の広縁



③平面図



④配置図

敷地は、植栽が豊かで、施主は景観をとても大事にしていた。既存の住宅は壁が多く、部屋がそれぞれ孤立し、暗い印象だった。

リフォーム後



⑤LDKは広々とした一体空間となり、窓からは風景が切り取られて見える。

⑥増築部、ハイサイドライトから光が入る。

⑦緑に囲われた玄関アプローチ

⑧和室。右手に増築を眺む。

⑨住まいが小さくなった分、敷地にはゆとりが生まれ、緑の中に佇む住宅となった。

既存木造住宅は解体することで、庭を広くとり、コンパクトな住まいでありながら、ゆとりある暮らしを目指した。吹き抜け部分設計のため、床暖房を採用し、また既存住宅分にはなかった断熱材を施工し、開口部はすべてペアガラスとすることにより、断熱性能は新築と同レベルに上がった。




⑩平面図 ⑪断面図

キャッチフレーズまたは、セールスポイントを15字程度で表現してください。

自由にレイアウトしてください。

《写真について》

- ・リフォーム前後の比較ができる写真を貼ってください。
- ・(可能ならば)周囲の状況の入った外観写真を貼ってください。
- ・耐震改修工事の場合、工事途中の写真を添付してください。(別紙添付可)

《図面について》

- ・リフォーム前後の平面図、配置図(方位付き)を添付してください。
- ※リフォーム部分は着色するなど分かりやすく工夫してください。(応募用紙に入りきらない場合は別紙添付でも可)

- 審査委員**
- | | | |
|-----|--------|------------------------|
| 委員長 | 鯨坂 徹 | 元鹿児島大学工学部教授 |
| 委員 | 八反田 淳一 | (一社)鹿児島県建築士事務所協会会長 |
| 委員 | 打越 綾 | (公社)鹿児島県建築士会女性部会幹事 |
| 委員 | 西村 昭一 | (一社)鹿児島県建築構造設計事務所協会会長 |
| 委員 | 岩元 ミユキ | 鹿児島県インテリアコーディネーター協会会長 |
| 委員 | 瀬戸 司 | 鹿児島県土木部建築課住宅政策室長 |
| 委員 | 高崎 智幸 | (公財)鹿児島県住宅・建築総合センター理事長 |

住まいのリフォームコンクールに係る応募者等の個人情報の取扱い KJC080711

(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター 総括個人情報保護管理者 総務管理部長

(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター(以下、「住宅センター」という。)では、住宅リフォームの普及促進とリフォーム工事の質の向上を図るため、「住まいのリフォームコンクール」を実施しており、今回の応募で提出していただく書類は、「住まいのリフォームコンクール応募要領」に定められた書類です。この提出書類により取得した個人情報につきましては、住宅センター個人情報保護方針に基づき、以下のとおり取扱います。

- 1 個人情報の利用目的

提出書類により取得した個人情報は、次の目的以外には利用いたしません。

 - (1) 選定結果通知などの事務連絡に関すること
 - (2) 入賞作品の表彰・公表に関すること
 - (3) 後援者(鹿児島県等)への結果報告に関すること
- 2 個人情報の第三者への提供

取得した個人情報については、あらかじめ本人の同意を得ない限り第三者への提供はいたしません。

 - 3 個人情報の委託

入賞者への賞状及び入賞作品の作品集作成などのため、取得した個人情報を委託することがあります。
 - 4 個人情報の提供がなかった場合

提出書類等について、不備や、未記入等があった場合、受付できない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
 - 5 個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等について

申込者本人から個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等についてお申し出があった場合、住宅センター個人情報保護規程(規程第19号)及び個人情報の開示等に関する取扱要領に基づき、適切かつ迅速に対応いたします。

【開示等受付窓口】 〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番228号
 (公財)鹿児島県住宅・建築総合センター 総務管理部 総務課 個人情報保護事務局
 TEL 099-224-4539
 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)